

学校だより



# 平沼

令和4年1月31日

横浜市立平沼小学校



Mail ; y3hiranu@edu.city.yokohama.jp

URL ; <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/hiranuma/>

## 心はつながっています～節分にあたって～

副校長 桐畑 美登利

厳しい寒さの中ですが、日差しが明るくなり梅花の便りも聞かれる頃となりました。春は一步一步、近づいてきています。

すっかりと葉を落としてしまった落葉樹をじっくりと見てみると、冬芽を付けています。葉や花の芽をぎっしりと詰めて、寒さの中で明るい陽光をじっと待っています。2月「<sup>きさらぎ</sup>如月」は草木や動植物が春に向けて動き始める時期であり、「<sup>このめづき</sup>木芽月」「<sup>うめみづき</sup>梅見月」など和風月の別名も多いことにも興味深いです。



正門近くで咲く紅梅

さて、2月3日は「節分」です。節分は季節の分かれ目を意味し、春夏秋冬の4つの節分がありましたが、今は立春（2月4日）の前日の節分だけが残っています。

節分の日には、鰯の頭を「ひいらぎ」の小枝にさして玄関の戸口に吊るすご家庭があるのではないかと思います。また地域ごとに節分の季節行事があり、私の幼少期、甲州では、節分の日の夕刻までに、竿の先端に籠を付けて軒先に立てていました。籠は目の数が鬼の目より多いので、鬼を怖がらせて追い払うのだと後に知ることとなりますが、見えないところに鬼がいて人間社会をうかがっているのかなどとシュールな面持ちで眺めた、夕闇に立つ竿の不思議な光景は、まさにファンタジー世界への入口のようでした。その後は、炒り豆を撒いたり食べたりと、家族でわいわい楽しむことで、不思議な気分も忘れ、自然と現実世界へと引き戻されていたことでした。

オミクロン株が猛威を振るい感染の拡大が続いています。迷い込んでしまった世界からいつ抜け出せるのか、出口はどこなのか、見つからない日々です。本校におきましても教育活動に制限をかけて取組んでおり、ご家庭の皆様には、大変にご協力をいただいております。

ですがこのような時だからこそ、原点に戻って一番大事なことを見つめ直し、「心はつながっているよ」とメッセージを送り続けていきたいと思えます。子どもたち一人一人には自分らしさ、自分自身のよさを見つけて、自信をもって過ごしてほしいと願ってやみません。

地域・保護者の皆様と引き続き心をつなぎ、共に子どもたちを見守り応援していただきまして幸いです。2月もどうぞよろしくお願いいたします。